

女性スタッフによる 改善活動報告会開催

3月26日、スタッフ部門の女性社員による「食堂運用改善」の役員を含む管理者への報告会がおこなわれた。この活動は昨年の5月にスタートし、約10ヶ月間に亘り活動を行ってきた。食堂利用者側と厨房使用者側双方の満足度を向上する改善を目的としており、QC手法を効果的に用いた報告が行われました。効果の「時間」「重さ」「人数」など、定量的な説明を行い、林社長からは「プロジェクト名に“女性改善”とつけるには失礼な程、素晴らしい内容でした。今後は本来業務での活躍を期待しています。」と講評を頂きました。

